

## 事業報告書

団体名 特定非営利活動法人 Creer

事業名	みんなの笑顔をつなぐクレール子ども食堂	
事業の実施内容	時期	令和元年5月7日～令和2年3月31日
	場所	徳島県徳島市昭和町3丁目35-1 徳島県労働福祉会館1階
	実施内容	<p>【クレール子ども食堂】</p> <p>5月の事業開始から3月末まで平日毎日（台風による休止、年末年始以外）230日間、午後1時から6時までクレールレストランで子ども食堂を開いた。</p> <p>参加人数：子ども（732人） 大人（257人） ボランティア（1316人）</p> <p>内容</p> <p>1、食事の提供 地産の食材や、提供いただいた食材を使った日替わりメニューの食事を子ども無料、大人500円で提供した。</p> <p>2、学習支援や創作活動 宿題等の自習の場を提供し、学生ボランティアやシニアによる学習支援や書道、絵画、工作等の創作活動を行った。</p> <p>【イベント】</p> <p>月1回第4土曜日午前10時から午後3時まで、徳島県労働福祉会館5階大ホール等にて行った。</p> <p>食事の提供や学習支援にプラスして、下記の活動を、月替わりで、楽しく充実した内容で行った。</p> <p>食事は特別メニューとし、子ども無料大人1000円（イベント参加費込）とした。</p> <p>5月25日 紅白歌合戦、カラオケ、フリーマーケットでお店屋さん 6月22日 おにぎりキッズ大会 7月27日 夏休み 宿題応援講座（習字教室とマジパン工作教室） 8月24日 エシカル漫画と子どものための防犯教室 9月28日 ラグビーワールドカップ応援企画 ミニ運動会 10月26日 こども音楽体験教室&amp;フラッシュカードでおべんきょう体験 11月23日 こども食堂まつり 12月28日 太鼓もちつき大会と和太鼓演奏体験 1月25日 新春もちつき大会・書初め大会 2月22日 かわいい動物チョコケーキクッキング講座 3月28日 ありがとう子ども食堂コンサート</p>

	<p>効 果</p>	<p>1、子どもの居場所づくり 子ども達がいつでも来て、ごはんを食べて、学生ボランティアや地域のひとと過ごす暖かい居場所を提供することができた。</p> <p>2、障がいのある人の社会貢献活動 地域の子どもの達や皆さんが集う子ども食堂で、クレエールの障がいのあるメンバーが就労訓練で身に付けた技術を生かして調理した食事を提供する社会貢献ができ、人の役に立てているという喜びを感じ、自己実現ができた。</p> <p>3、インクルーブな社会づくり 子どもからシニアまでの地域の方々がクレエールの障がいのあるメンバーと接することにより、障がい者理解が深まり、障がいがあっても安心して暮らしやすいコミュニティが創られ、障がいのない人にとっても、今までの認識を改めたり、初めて知ったりする機会になり、この地域が、インクルーシブな社会になることに貢献できた。</p> <p>4、地産地消推進 IPPIN 店活動のさらなる拡大とフードロスの削減 平成 22 年より、徳島市認定の地産地消推進 IPPIN 店としてとくしまブランド野菜を中心にした日替わりメニューの調理販売を続けてきたが、この事業を通じて、さらに充実させるいい機会になった。 子ども達や地域の皆さんに地産の野菜中心の日替わりメニューの食事提供による健康増進や食育の効果があつた。 多くの生産者、団体、個人の方から、規格外の野菜や、賞味期限が近い食品などたくさんの食材提供をいただき、230 日間に 2305 人の食事に有効に活用してフードロスの削減ができた。</p>
	<p>役割 分担</p>	<p>&lt;団体の役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングの協働とリターン準備、お礼状の送付</li> <li>・子ども食堂の運営（食事の調理・提供ほか）</li> <li>・子どもを囲み、学生ボランティア、地域の方々による居場所づくり</li> <li>・寄附者、食材提供者、ボランティアの募集</li> <li>・月 1 回イベントの計画実施</li> </ul> <p>&lt;徳島市の役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報 広報とくしまに掲載や市役所窓口でチラシ設置ほか</li> <li>・資金調達 ふるさと納税によるクラウドファンディング</li> <li>・食材調達 生産者へ提供呼びかけ</li> <li>・人材紹介 市職員・老人会などへボランティア募集</li> </ul>

	工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達がいつでも来て、ごはんを食べ、楽しく過ごせるようにした。</li> <li>・子どもが安全に過ごせるよう、防犯、けが、アレルギー食などに気を付けた。</li> <li>・子どもだけの参加の場合は、ご家庭と連絡が取れるよう気を付けた。</li> <li>・お父さん、お母さんらも、ほっとできる時間を過ごしていただいたり、用事を済ませたりできるように、必要がある場合は、子どもだけを預かり、食事提供などを行った。</li> <li>・地域の高齢者が子どもとふれあいながら元気に活躍してやりがい、生きがいを感じていただけるよう、役割を担っていただく工夫をした。</li> <li>・学生ボランティアが大学の単位取得のためだけでなく、いろんな世代の人や障がいのあるメンバーとの交流と社会貢献の意義を学んでいただき、やりがいや喜びを感じていただいて、経験を踏み、成長の一助になるように努力した。</li> <li>・寄附や食材提供をしていただいた方には、できるだけ早くお礼状を出し、子ども食堂にも団体のみお名前を掲示した。</li> <li>・新聞、放送などに取材をお願いし、多くの人に知っていただけるようにした。</li> <li>・2月3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が休校になり、来店する子どもが増え、検温、手洗い、消毒など一層注意して運営した。</li> <li>・3月のイベント、子ども食堂コンサートは、座席の間隔を大きくとった。</li> <li>・記録を残すため、写真を撮影許可をもらって残した。</li> <li>・参加した子どもやボランティアに、子ども食堂ののぼりや、案内表示、店内を飾るイラストや折り紙工作などを製作してもらい、みんなで作り上げていく子ども食堂となった。</li> </ul>
今後の事業展開		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もクレール子ども食堂を継続する。</li> <li>・子ども達や地域の方が入ってきやすい食堂になるようさらに工夫する。</li> <li>・資金については、寄附や助成金をいただけるようお願いし、食材提供も募る。</li> <li>・高齢者の方の知識や経験を生かして活躍の場を増やし、生きがいを感じ、介護予防と子ども達の成長の両方を図りたい。</li> <li>・障がいのあるメンバーはさらにレベルアップした料理が作れるように努力する。</li> <li>・楽しい居場所にする。</li> </ul>

